

## あさカジャ Vol.2

アンニョンハセヨ！

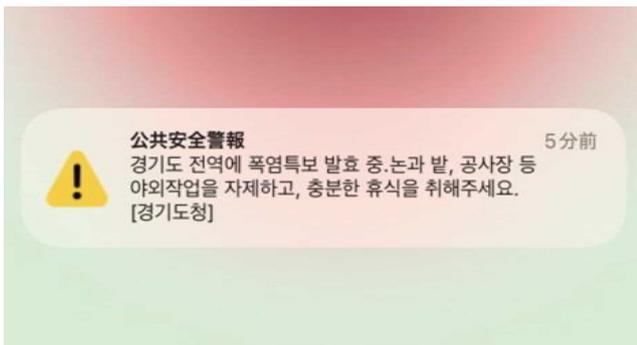
韓国水原市（スウォン）滞在中の湯浅です。

旭川市の皆さんはいかがお過ごしでしょうか？

韓国は梅雨入りし、水原市も毎日非常に蒸し暑いです。韓国では、

気象情報・地震・災害・行方不明者情報等に関する緊急アラート

「公共安全警報」が、昼夜を問わずスマートフォンに通知されるのですが、最近では毎日暑さへの注意喚起が通知されています。



スマートフォンに届いた通知

「京畿道全域に猛暑警報発効中。野外作業を自制し、十分な休息を取ってください。」

最近訪れた大邱（テグ）という場所は韓国で最も暑いと言われており、まるでアフリカのような暑さだ！ということで「デプリカ」と呼ばれているようです。ユーモアがありますよね。ただ本当に笑えないくらい肌が痛くなるような暑さでした…！



北海道でしか暮らしたことのないわたしは、経験したことのない梅雨の蒸し暑さに既に身の危険を感じているのですが、この梅雨が終わるとさらに気温が高くなると聞いて怯えています。

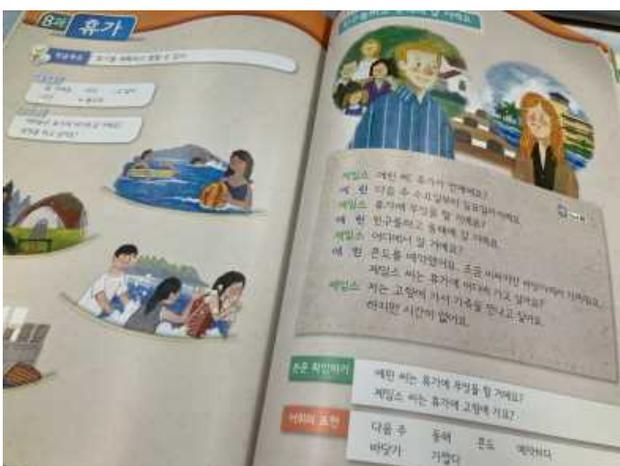
北海道でも猛暑日を記録した日があると聞きました。皆さんも体調に気をつけて、お過ごしください！

そして、6月から韓国語の授業が始まりました。

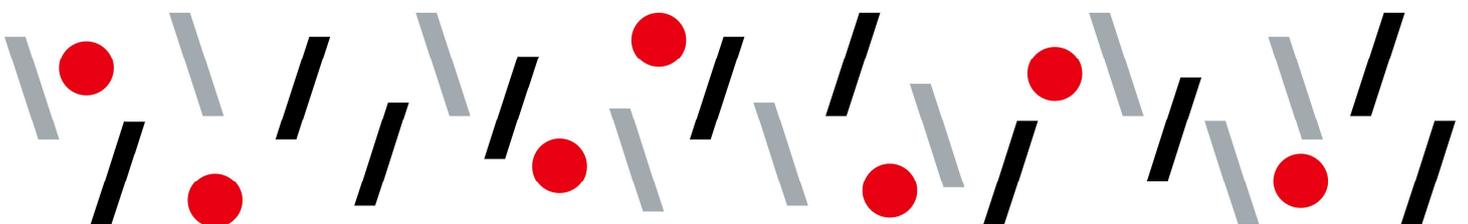
一般的には、語学堂という場所に通り、留学生や在韓の外国人等と複数人で授業を受けるのですが、今回はなんとマンツーマンです。少々プレッシャーを感じつつも、恵まれた機会に感謝しながら毎回意欲的に授業に臨んでいます。

それまではひとりで黙々と勉強していたので、発音を正してもらえたり、先生と会話をしながら学ぶことができ非常に楽しいです。

さらに韓国語力を身につけられるよう頑張ります！



授業で使用しているテキスト、もう少しで1冊目が終わります！



さて、6月21日に旭川実業高等学校の宮下靖広校長先生と4名の生徒の皆さんが水原市へいらっしゃいました。

この度、旭川実業高等学校と水原市の三一（サムル）工業高等学校が姉妹校連携協定を結ぶことになり、その調印式が三一工業高等学校で開催され、この記念となる場にわたしも参加させていただきました。

この協定は、高校生同士の異文化交流により個々の能力・適正の伸長を図ること、相互の教育内容への理解を深め、次世代の人材育成を図ることを目的とし、具体的には、姉妹校相互の訪問・交流、姉妹都市事業への参加、教育研究に関する教員の状況共有等を協力事項としています。今回の協定にあたって、両校の校長先生は、互いの言語や文化を学ぶだけではなく、実際の交流を通じて真の意味で相互の理解を深めたいとも仰っておりました。



旭川実業高等学校の宮下靖広校長先生と三一工業高等学校のジャン・ソンウン校長先生が協定書に調印した場面



## ASAHIKAWA CITY

この日は調印式のほか、対面式や校内ツアー、交流プログラムとしてパッピンス（韓国式かき氷）作りがありました。

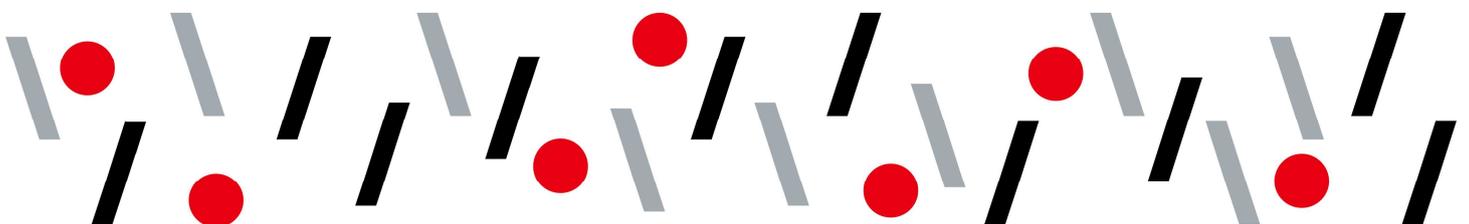
対面式では、両校の生徒の皆さんがそれぞれ練習してきた相手の言語を使って、学校紹介を行いました。皆さんが緊張しながらも一生懸命説明しているのがとても印象的でした。学校案内では、旭川実業高等学校の生徒の皆さんが、自分たちの学校にはない設備等に驚き、関心を持っているようでした。

そして、パッピンス作りでは、三一工業高等学校の生徒の皆さんが、旭川実業高等学校の生徒の皆さんに作り方を教えながら、楽しく作って食べていました。



最初はどのようにコミュニケーションを取ったら良いかと互いに緊張している様子の両校の生徒の皆さんでしたが、手作りしたパッピンスと一緒に食べる頃には、すっかり打ち解けて仲良くなっている様子でした。

恋愛の話で盛り上がっている生徒もいました。世界共通で盛り上がる話題ですね！





2時間の交流はあっという間に終了し、最後は皆さんで記念撮影をして終了しました。

三一工業高等学校のジャン・ソンウン校長先生は、次回は三一工業高等学校が旭川市を訪問したいと仰っていました。また、両校の校長先生はスポーツでの交流もしたいとも仰っており、今回の協定を機に、今後積極的な交流が行われていくのだろうと感じました。

昨年、旭川市と水原市が姉妹都市提携35周年を迎え、次の節目に向けてスタートしたこの年に、旭川実業高等学校と三一工業高等学校が姉妹校締結をされたことは記念すべき事だと感じました。

旭川市と水原市、旭川実業高等学校と三一工業高等学校がともに今後も良好な関係を築いていければと思います！





最後の記念撮影の様子。  
三工業高等学校の生徒と先生の皆さんが作成したプラカード、非常に上手ですね！

